

決意新たに新執行部発足

指導部は

組合員に学べ

組合長 宮川睦男



この点は私は執行部の一番反省しなければならぬ点ではないだろうかと思えます。

指導者としての姿勢
あまりながく幹部をしていると現場の組合員の実態にもうとくなり、一方、理屈だけをならべたてて頭の中の運動となってしまうかと思ひます。

本年度の定期改選が終り、去る二七日の機関構成中央委員会、一切の確認を得て新しくそれぞれの機関が発足いたしました。

改選のたびごとに、ここにこそは……と決意しながら、一年をふりかえってみると、あまのにも

も親切味がなく、官僚主義・淫駭主義になりきった幹部もあり、勤務態度などもよくない幹部もいるという話をきくことがあります。

主張
前進を決意する

六月二七日、いわゆる機関構
成の第一回中央委員会をもち、
われわれは新たなる前進を決意
した。

われわれは、決議機関や執行機関が新しく構成されたので「新たな決意」をしたのだらうか。

反合理化・長期抵抗路
線を三年間検証し、そ
の正しさを確認した
安保と三池という大斗争の歴
史的経緯を土台にして、わねわ

る。

その間、全組合員と家族による不屈のたたかいは、総評・炭労はじめ全国の仲間たちの指導と協力に支えられ、三年間の抵抗斗争の総括としては、反合理化・長期抵抗路線の正しさを再確認することができた。

すなわち、苦しいたかいの
連続の中で、多くの仲間の犠牲
に耐えつつ、粘り強く推進され
たわれわれの抵抗斗争は、出炭

四〇年度
機関構成終る

さる六月二五日の投票の結果、四〇年度新執行部体制がきまり、二七日の中央委員会で確認されました。

本部役員

組合長	宮川	睦男
書記長	灰原	茂雄
書記次長		
労務担当	立山	久

組織担当	山下 開
厚生担当	古賀 徳継
東京事務所事務局長	
財務長	蒲池 清一
監事	田中 貞雄
部員	墨田 大代
部員	大眉陸之助
宮浦支部	平川 勝俊

支部長	古賀 春吉
労働部長	藤沢 孝雄
組織部長	中屋 親盛
厚生部長	原 登十男
四山支部	
支部長	浦野 勇明
労働部長	立山 寿幸
組織部長	田中 工
厚生部長	飯用 朝幸
三川支部	
支部長	谷端 一信
労働部長	沖 正信
組織部長	緒方 八郎
厚生部長	北岡ひとし
本所支部	

支部長	塚元 敦義
勞働部長兼厚生部長	阿久津正次
組織部長	堀田 昇
港務支部	
支部長兼勞働部長	波田 紀生
組織部長兼厚生部長	大橋 武彦
議長 團	
議長	中田 忠男(本所)
副議長	石丸 国男(四山)
副議長	森田 満明(宮浦)

議長団の決意

議長 中田忠男

おわりに

執行部も大幅に減員となりましたので、分会役員の方ならびに組合員の方々の積極的な協力をおねがいいたしますとともに、私たちも減員となった分を少数の人員で仍るゝ覚悟です。

客観的条件は、私たちにたしかに有利です。反響に転ずる好期です。全体の力をあわせて「ことしこそは……」という決意を再確認したいと思ひます。

議長 中田 忠 男

議長団を代表して決意の一端を被歴し、ご挨拶に代えたいと思ひます。前月の三十九年度定期総会で決定致しました規約・規程の改正

めいよいよ内部体制を強化しなければならぬ。

遺族とガス中毒患者を守り、地域における諸斗争、とくに「反戦平和」のたたかいの先頭に立つことが、三池労働者の責任であり、参平・長勢は日本の全国へ

この意味でわれわれは断固として新たな決意を金貨で固めたのである。



決定致しました規約・規程の改正

全財政をめざして

監事 墨田 大代



前年度監事が出しました三つの問題点が、三十九年度定期大会で確認されました。

その二つは、財産備品について農場閉鎖に伴う土地管理と農場左損を償うよう留意し、備品の整理について、二点目は、一般会計について、予算に対して、反合理化斗争の激化という状態が主な原因

必要であること。三点目は、共済会計について、①共済会の赤字を見込んで、一般会計に繰入れすることは考慮すること。②共済の目的に即ちよう借入金の早期返済により、手数料の軽減を図るといふ共済会運営についての要望した。

私は今期監事の任を引き継ぎこの三点の要望をとり入れながら中央委で依頼される公認会計士と協力を得て、任務の遂行をいたします。各級機関の絶大なご協力をねがいます。